



「はまらん会」とまちづくりについて語った ～第1回市長出前トークを開催

市長出前トークは、市の広報・広聴事業の新たな試みとして、現在、まちづくりに精力的に取り組んでいる団体に出向いて語り合い、それを市政の活力増進につなげることを目的に行うものです。

第1回目は10月3日、現在、かつあラーメン、鹿籠料理などで市を盛り上げようとする「はまらん会」の会員の方々と『食とまちづくり』をテーマにして行いました。会員からは、「地産・地消の観点から黒豚を使った学校給食」「飲食業をはじめ旅館業など異業種の方々と一緒にまちづくりを進める機運の醸成に努めてほしい」といった要望が出されるなど、大変有意義な会となりました。



オーケストラ演奏に酔いしれた ～桜山中学校で芸術鑑賞会

桜山中学校で9月28日、芸術鑑賞会が開催され、同校の全校生徒が鹿児島実業高校吹奏楽部による、迫力のある吹奏楽の演奏を楽しみました。

演奏会は、爽快で元気あふれるマーチ「ブルースカイ」でスタート。モーツアルトメドレーのほか、アイドルグループ「SMAP」の「オレンジ」など、生徒たちに親しみのある曲が演奏されました。また、ホルリスト作曲の「ジュピター」を、同校の吹奏楽部と一緒に演奏し、緊張した面持ちながらもすばらしい演奏を披露してくれました。

道着に汗して安全運転を呼びかけ ～剣道スポーツ少年団が交通安全街頭キャンペーン

毎年恒例の剣道スポーツ少年団による交通安全街頭キャンペーンが9月29日、地場センター前道路で行われました。キャンペーンに参加したのは、枕崎・立神・桜山剣道スポーツ少年団とその保護者ら約40人。

子どもたちは、道着姿で汗を流しながらも通行中の車やバイクを止めて、ペットボトルのお茶やティッシュのほか、子どもたちが作った交通安全標語のチラシを配り「安全運転をお願いします」と呼びかけていました。

この活動は、約30年間続けられており、今年5月、県警と県交通安全協会から優良団体の表彰を受けています。

最近、交通事故が頻発していますが、この子どもたちの頑張りが報われるよう、安全運転をお願いします。



食の大切さを学びました ～食育講演会を実施

枕崎の食を考える会、かつお通り会主催による「食育講演会」が10月8日、サン・フレッシュ枕崎で開催されました。講師は、NPO法人霧島食育研究会代表千葉しのぶさん。千葉さんは、霧島での食育活動の状況や食に対する想いを語り、参加した約140人が改めて食の大切さを実感し、食育についての関心・興味を一層深めました。

終了後は「ミニ食の祭典」も開かれ、茶節の振る舞い、オリジナル料理の試食で舌鼓を打ち、会場は大いに賑わいました。



「はやくおおきくな～れ」とソマの種まき ～投稿者：阿久根ヤス子さん

富士保育園・第2富士保育園の4・5才児約70名の園児が9月6日、地域ふれあい活動事業の一環として、美原町の畠約200m²にソマの種をまきました。

このソマは11月中旬に園児たちの手で収穫され、めぐり棒・トウミなど昔ながらの道具を使って脱殻し、年明けにはそば打ち体験、そば切りの試食をする予定です。

子どもたちは、その小さな手にソマの種を渡されると、しっかりと握りしめ、保育士に見守られる中、地面の上にそっと種を置き、土のお布団を優しくかけてあげていました。そして、「早く大きくな～れ！」の元気いっぱいのかけ声が畠中に響き渡っていました。きっとソマの種も期待に応えてくれることでしょう。



100歳おめでとうございます ～小原若子さん（港町）

小原若子さんが10月15日にめでたく100歳を迎られ、同日、港町のご自宅で、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

小原さんは、果物や甘いものが大好き。刺身もよく食べられたということです。昔からあまり悩み込まない明るい方で、けんかをしても時間が経てばカラッと忘れるような、さっぱりした性格だということです。80歳ぐらいまでご自宅の薬屋でお仕事をされていたとのこと。これからも元気で長生きしてください。



投稿

東京枕崎会『望郷の集い』を盛大に開催 ～投稿者：東京枕崎会会長 新屋敷耕作さん

『第54回東京枕崎会総会・望郷の集い』が10月7日、東京都港区で開催されました。参加者は関東一円から、いや郷土枕崎からも旧友に会いたいと馳せ参じた人を含め160名にも膨れ上がりました。

参加者たちは、市長・議長をはじめ商工会議所会頭・水産加工組合長からの「枕崎の近況報告」を熱心に聞き入り、懐かしい故郷に想いを巡らせながら語らいました。

総会は太鼓踊りで威勢良く始まり、参加者のあはら踊り、枕崎特産品の特売、福引会と楽しく愉快な企画で盛り上がりしました。また、つけ揚げ・腹皮・焼酎白波の本土産をいただき『ふるさと枕崎の味』を思い出しながら、来年の再会を誓い合いました。



あの日比野克彦さんに学んだ ～日比野克彦ワークショップが南溟館で

霧島アートの森で10月12日から12月2日まで開催されている「日比野克彦展『日々の旅に出る』」に先立ち、南溟館で日比野さんによるワークショップが10月7日に開催され、小学生や一般の方など約90人が参加しました。

「旅立ちの地」をテーマに、日比野さんが枕崎のイメージである船を作ろうと提案。作り方の例を絵で紹介しながら、「遠くに行ってみたい」という気持ちを持ちながら作って」と話し、参加者たちは工作用紙で思い思いに船を作りました。有名なアーティストである日比野さんとの創作は、貴重な体験となったことでしょう。